

日時：令和5年3月23日（木） 19：00～

福井県薬剤適正使用スタートアップ研修会

薬剤使用の適正化に向けて
（ポリファーマシー対策）

「病院の取り組みについて」

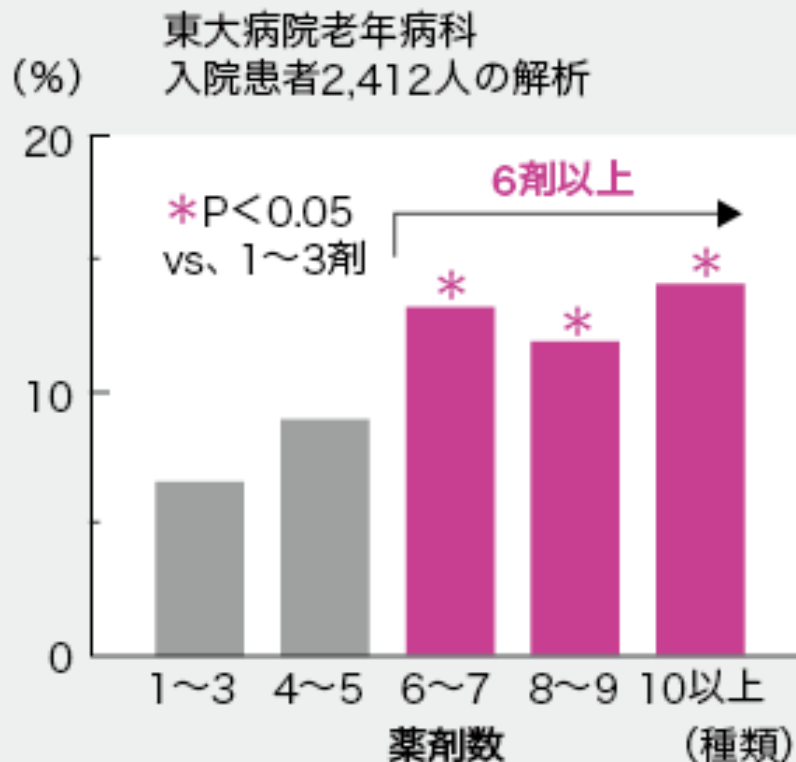
市立敦賀病院
太田 肇、佐藤友美、荒木隆一

ポリファーマシーとは

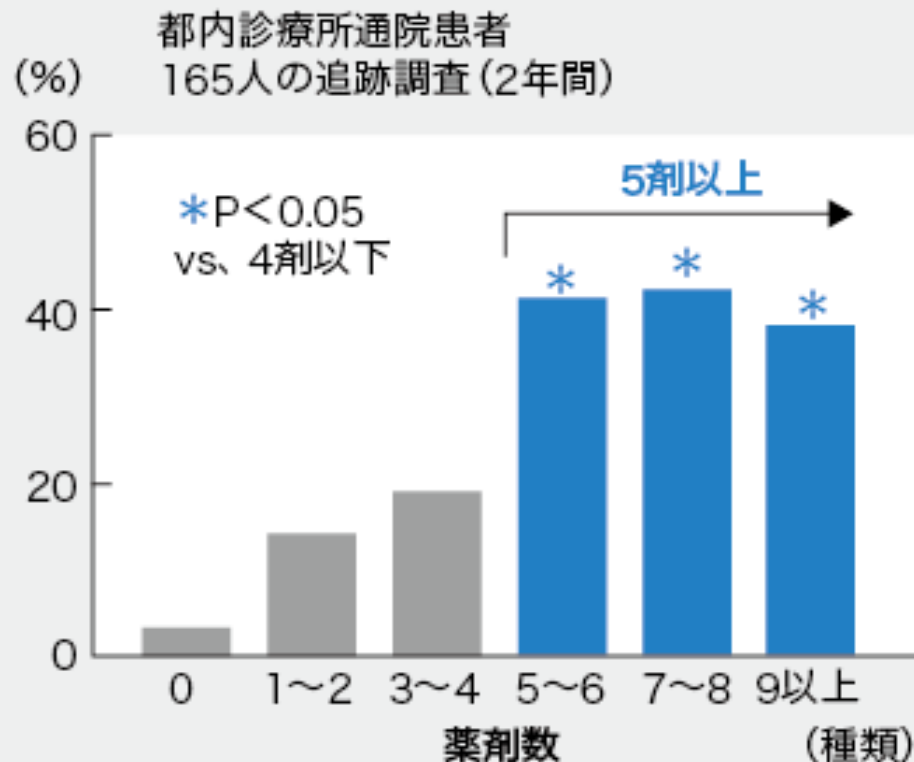
- Poly(多くの) + Pharmacy(調剤) 多剤服用 (造語)
多剤服用 = 悪 の意味ではなく、
「多剤服用の中でも害をなすもの」をポリファーマシーと呼ぶ。
- 単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態をいう。
- 高齢者は複数の慢性疾患を持つため多剤服用になりやすく、加えて身体的機能や精神的機能の低下により薬物有害事象のリスクも高くなるため、特に高齢者においてポリファーマシーが問題となっている。

高齢者の多剤服用による有害事象の発現頻度

1. 薬物による有害事象の頻度



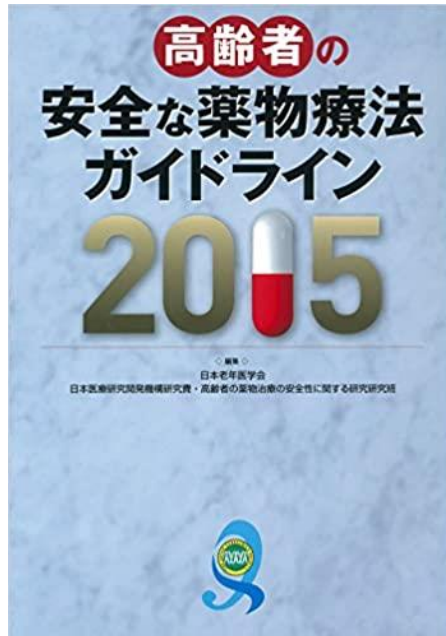
2. 転倒の発生頻度



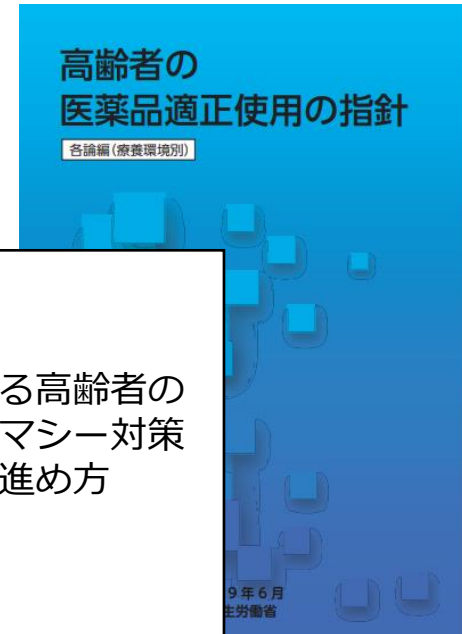
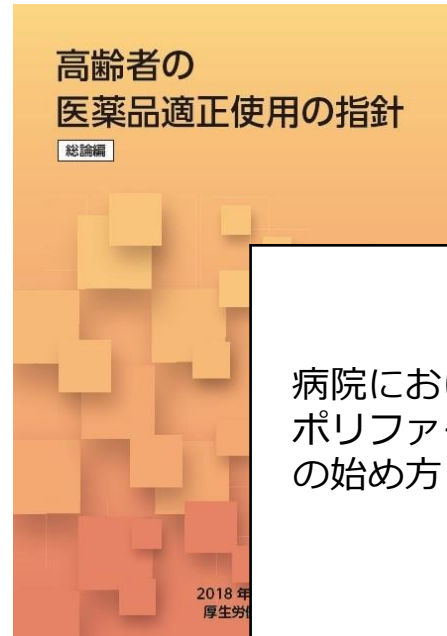
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/22212467>

高齢者の薬剤適正使用の指針となるもの

老年学会



厚生労働省



病院における高齢者の
ポリファーマシー対策
の始め方と進め方

令和3年3月31日

ポリファーマシー対策の始め方

- 院内の現状を把握する
- 院内の理解を深める
- 院外関係施設の理解を得る
- 担当者を決める
- 小規模から始める

病院における高齢者のポリファーマシー
対策の始め方と進め方 より

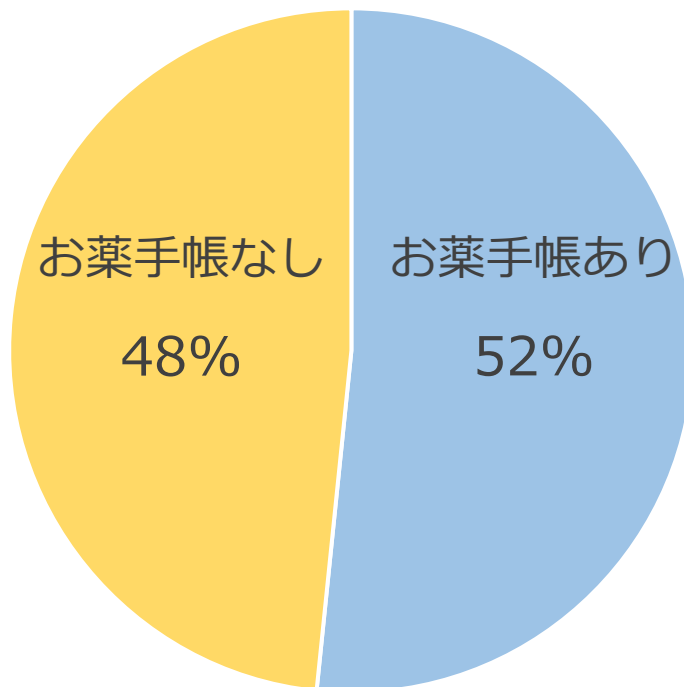
当院の現状の把握

- お薬手帳の普及の現状
入院時持参薬検薬を行う患者の手帳持参率
- 当院における薬剤投与の現状（外来・入院）

お薬手帳の普及状況

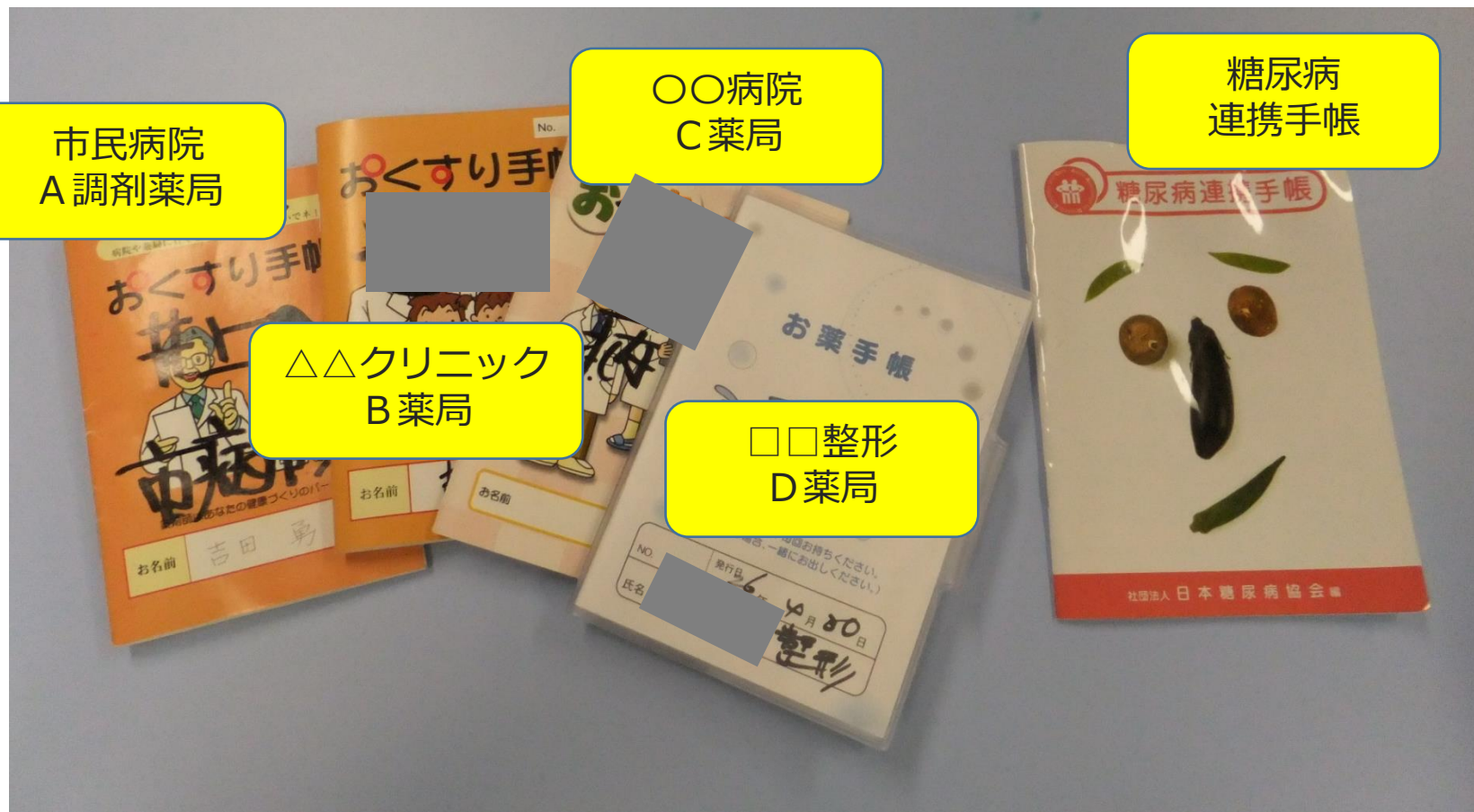
入院時持参薬検薬依頼患者のお薬手帳持参率

2021.7～2021.12



入院時に持参薬を持ち込む
患者のうち
約半数がお薬手帳を持参

おくすり手帳は大切 でも現実的には・・・

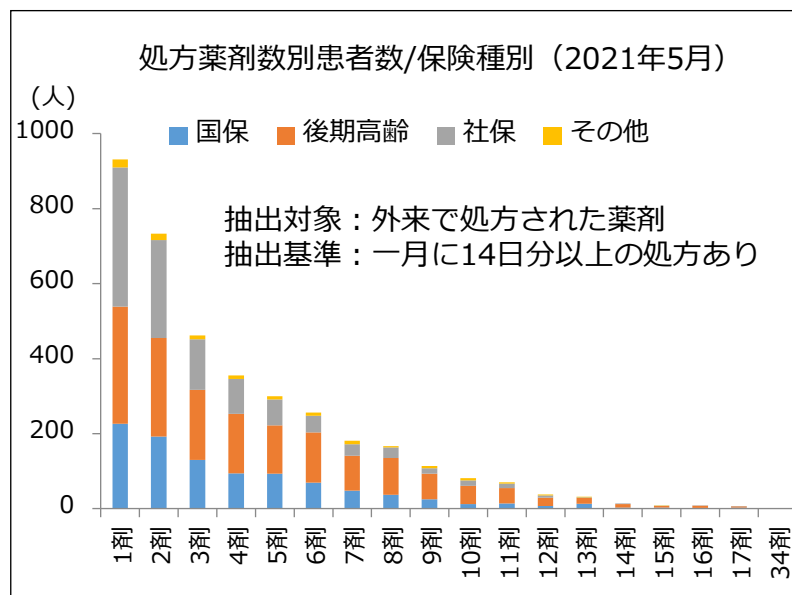


患者さんの持参薬の中にはこのような薬も・・・



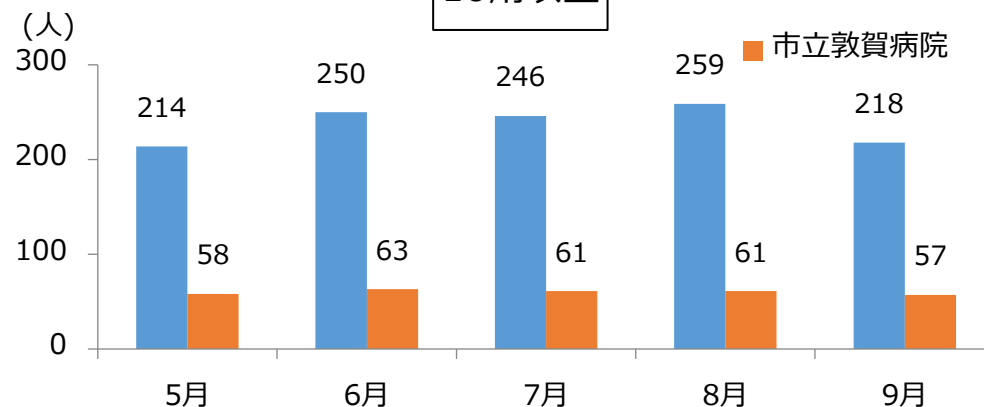
本当に内服できている？

当院（外来患者）における処方薬剤数

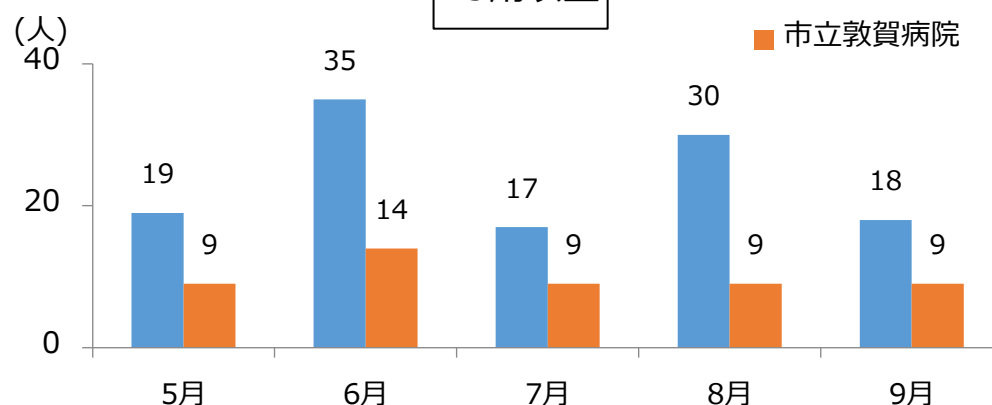


国保患者

10剤以上



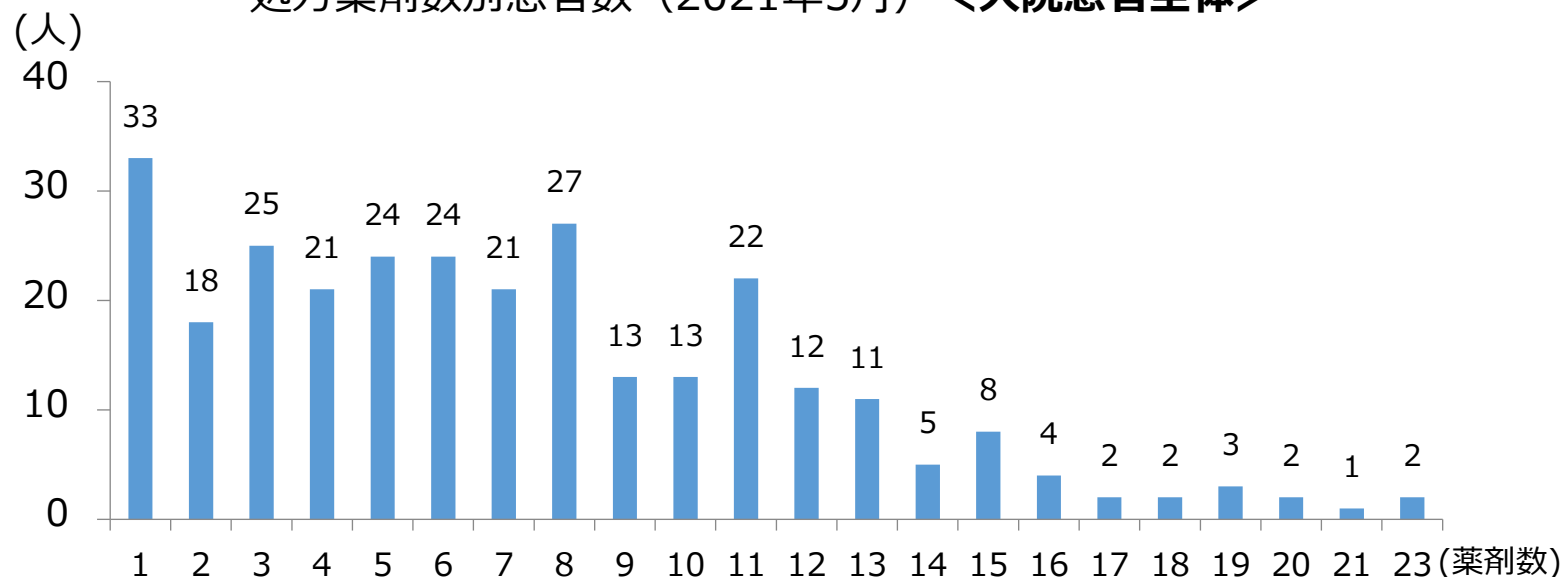
15剤以上



10剤以上：全外来患者の約6%
15剤以上：全外来患者の約0.7%

当院（入院患者）における処方薬剤数

処方薬剤数別患者数（2021年5月）＜入院患者全体＞



抽出条件	該当者数（人）					該当者数/入院患者数（％）				
	5月	6月	7月	8月	9月	5月	6月	7月	8月	9月
7日以上・10剤以上	63	57	52	55	59	15.0%	12.4%	11.1%	11.3%	12.9%
7日以上・15剤以上	24	27	24	18	18	5.7%	5.9%	5.1%	3.7%	3.9%

当院での薬剤適正使用への取り組み

適正使用の定着！！

・
・
・

適正使用にチャレンジ（チームなど）

情報を一元化してく（手帳普及、全科カルテ）

○ 院内の理解を深める（医局会等での啓蒙）

○ 院内の現状把握（手帳普及率、多剤処方現状）



まずは、できることから・・・

検索条件		未承認オーダー	2 件	受付一覧への表示
職種	全て			<input type="checkbox"/> 医師伝達解除
<input type="checkbox"/> 削除データ表示	カウンターサイン	0 件(今日	0 件 明日	0 件)
※メッセージ修正は各メッセージダブルクリックで修正可能です。(あなたあてメッセージは除く)				
掲示板		チェック情報		
あなた(太田 肇)あてメッセージ				
<div></div>				
スタッフ伝言板				
				追加
2022/01/12 10:27 医師:消化器内科:太田 肇 [表示期限なし]				
各科担当医御侍史 消化器内科、循環器科、呼吸器内科、整形外科、泌尿器科通院中。 ポリファーマシー(20剤以上内服)の状態です。各科で処方内容を検討し、内服薬の減少にご協力をお願いします。				